

# 自然の調和の中であそぶ

本年は、「このほか寒さの厳しい日々が続いています。日本海側や山間部では、異常な大雪にみまわれ、屋根の雪下ろしや除雪に難儀をしていると聞きます。北海道では、マイナス二十度にも気温が下がり、南の沖縄では、早咲きの桜が開花したとも聞きます。南北に長い日本列島では、五十度にもなる温度差が生まれているのです。

本年は、日本列島全体が異常気象に見舞われ、野菜の成長も例年と違い、品不足が心配されています。これは、日本列島だけでなく、地球全体が大変おかしい状態となっていると報じています。

例年ですと、寺の境内の「寒アヤメ」も、年の暮れから花を付けて、三月いっぱい私達を楽しませてくれるのに、ほとんど花は見られません。また、沢山花をつけてよい香りを放ち心なごませてくれる「白

本水仙」も今年は

開花が大変と遅れています。

これも寒さの為でしょうか、自然のバランスが一度崩れてしまつと、それを取り戻すことは大変なことです。

今私たちの住む群馬県太田市周辺は、日本の中でも最も災害の少ない地域となっていますが、終戦直後には、何度も大洪水が襲いました。戦争中に、山の木がたくさん切り倒され、山々は保水する能力を失い、一度大量の雨が降ると、一気に下流に集中して、大水害となりました。私たちの住む周辺の田畑も全て冠水し、下流の家々も水没して、大きな災害をもたらしたのです。

今は、周辺の山々は緑に覆われ、美しい景観と共に、限らない安全をもたらしています。

まさに、私たちは自然の調和の中で生かされているのです。



# 節分会を家族と共に

本年の節分は、二月三日の日曜日となります。常楽寺では、例年のように午後二時から「本堂で」節分会追難法要を行います。楽しい福引も準備しています。ぜひお集まり「一緒に」家族揃ってお出掛け下さい

かつては「節分の日は、どの家でも、トウライギの枝に「フシ」の頭をさして、つばをかけながら火にあぶり、玄関わきに掲げて邪悪な鬼が入ってこないように「おまじない」をしました。子どもたちやその家の年男が、部屋「ト」に「福は内、鬼は外」と大声をあげながら豆を撒き、急いで戸を閉めて、鬼を追い払ったものです。

また、残ったためでお茶を入れ「福茶」として、家族みんなで飲んで、禍を除いて福を招く家族ぐるみの行事をしたものです。

「節分」は、季節を分ける節目です。四季のあそび本ですから、春から夏、夏から秋、秋から冬、冬から春と、節分は四回巡って来ます。しかし、寒さの厳しい冬から春を向かえる喜びは何よりも、大きく待ち遠しく喜びにあふれ人々は春を迎える節分を大切にしてきました。

節分の翌日が「立春」と言いつて、暦の上では春となります。春を迎える喜びを家族みんなで喜び合いたいものです。

節分守護札 一、〇〇〇円

節分厄除護摩札升付 五、〇〇〇円

升無し 三、〇〇〇円

男子厄年 四歳 二十五歳 四十二歳

六十一歳

女子厄年 四歳 十九歳 三十三歳

三十三歳 六十一歳

※「ご希望の方は役員さんか常楽寺へ」ご連絡を